

2月28日（金）目標・ジャンプ・形

今年度最後の生活目標朝会がありました。「次の学年に向けてがんばりたいこと」を班で学び合いました。放送があると、それぞれのクラスで学び合いが始まりました。私が見ていたあるクラスではどの班も顔をつきあわせるように話し始めました。「もっと友達と仲良くなりたい」や「算数をがんばりたい」「ケンカがないようにしたい」「はやぶさができるようになりたい」「健康で楽しい学校生活ができるようにしたい」などなど、三年生でもすぐに課題を発言できることを、とても嬉しく思いました。

六年生の社会を見ました。本時の課題を先生が端的に説明し、プリントが配布されると「学習活動」が始まりました。自力で取り組む子がほとんどでしたが、数人は友達と学び合いを始めました。黒板には早くもジャンプ課題が示されました。「酸性雨は人にどのような影響を与えるのか」と。これは、子供がつぶやいた課題だと後で知りました。すばらしいです。子供の問いや疑問を大事にした授業をこれから扇小では作っていききたいものです。

一年生の算数では、三角形の色板を使って作った形を発表し合っていました。完成した中で一番のお気に入りを見せ合っていたのです。何人かのPCを見せてもらったのですが、完成した形の写真がたくさんありました。その中で最も自慢したいものを発表したのです。「クリスタル」「ヘラクレス」「ハートとヨット」「キツネ」「仮面」などなど、素敵な形と共に楽しい発表が続きました。



2月27日（木）式・夢・絵

卒業証書授与式の練習が始まりました。私は毎年同じことを六年生に考えてもらっています。「会」と「式」の違いは何か、ということです。学び合ってもらい、発表してもらいました。「会よりももっとちゃんとやる」「会よりも真面目にやる」「式はお祝いをする」「会は楽しんで、



式はちゃんとやる」などの意見が出ました。式には「ある定まったやり方やかたち」「決まったやり方で行う」意味があることを伝えました。

三年生の図工では「未来にタイムスリップ」という作品作りに取り組んでいました。自分の夢がかなった瞬間を絵にするようです。お店を開いている絵、バスケットボールの選手になって試合に出ている絵、あるお店の店員になって働いている絵などがありました。ある子は「戦争が終わっている」というタイトルの絵に取り組んでいました。どんな絵を描くのか、想像しました。完成まで楽しみにしておきます。

ここ数日、二年生から手紙をもらいます。国語の学習で誰かに手紙を書いているようです。そのついでに「校長先生にも」ということで書いてくれているのです。九九検定を受けに来たのかと思ったら、三人が絵を持ってきてくれました。私のために描いたようです。うれしくて校長室の壁にすぐに貼りました。その子たちも大喜びで歓声を上げながら出て行きました。次の休み時間、またその三人がやってきました。貼ってあるのを確かめに来て、また歓声を上げて出て行きました。さらにこれが、もう一度ありました。ずっと貼っておくことを約束しました。



2月26日（水）六年生を送る会

六年生を送る会。とっても感動的でした。会場となった体育館には、五年生が作ってくれた看板が貼り出されていました。「ありがとう」の文字は、扇っ子が小さなカードに書いたメッセージで作られています。会場の後方には、一年生が描いた似顔絵。サイドにも「卒業おめでとう！」の文字が貼ってあります。素敵な会になることは、会場に入った瞬間に確信できました。

各学年の出し物もすべて素敵でした。

おうぎ「ミッキーマウスマーチ」フラッグ演技

1年生「いつまでもともだち」合唱

2年生「スイミー」「エイサー」「こぐまのマーチ」



3年生「花笠音頭」+ダンス

4年生「あいうえ音楽」合唱（会場一杯ランプ舞う）

5年生「One」タットダンス、旗、けん玉、人文字

6年生「ストーリー」合唱

全員合唱 「ありがとうの花」「一年生になったら」

会が終わり退場した六年生を待っていたのは、この日のこの時のために結成された応援団。教室に向かう通路で待ち構えてエールを送りました。正にサプライズ。すべてを終えた4、5年生にインタビューしてみると「楽しかった」「うまくいった」「やってよかった！」と達成感にあふれていました。最後の最後まですばらしい会になりました。



2月25日（火）通学班・練習・ビル

地区委員の方にお世話になり、通学班の仮編制を行いました。新しい班長が誕生する日です。明日からは、新班長が先頭を歩いて登校してくることになります。「歩く速さが難しそう」「何とかできると思う」「正直、心配です」などなど、新班長からは不安と決意を聞かせてもらいました。新入生に向けた手紙を、普段の授業のとき以上に一生懸命に書いていた五年生の姿が一番印象的でした。

明日は六年生を送る会。各学年が六年生に感謝を表す出し物を披露します。体育館に集まって最終リハーサルをする学年もいくつかありました。また、各教室で練習をしている場面も見ました。二年生の教室では、合図で立つ練習や並ぶ練習。前に出る練習などを繰り返していました。予想以上に複雑な動きもあるようです。明日、六年生が感動してくれると嬉しいです。

一年生の算数では、机の上に12枚の正方形の紙が並べられました。課題はこの正方形でビルを作ること。一番多かったのは3×4のビルです。3つで一階を作り四階までであるビルです。実際に「3×4で12枚」と九九を知っている子もいました。右の写真のようなビルを考えた子がいましたが、近くの子からは「それじゃビルじゃないよ」



と言われてしまいました。でも、こんなビルも**あります**。
見たことがあります。私はこういう子が大好きです。

2月24日（月）社会

『**小学校～それは小さな社会**』という映画を観てきました。これはある公立小学校を一年間追いかけたドキュメント映画です。どの学校でも見られるような場面ばかりですが、プロが編集し監修すると感動的な出来事として映し出されるものだと感じました。会館は**満席**でした。学校関係者以外の方に見てもらいたい。学校の大変さだけでなく、**感動**や、職員の**奮闘ぶり**を知ってもらいたいと思いました。



2月23日（日）残務

午前中は校長室で仕事をしました。**算数チャレンジ**問題の直しが集まっていたり、会談で六年生に渡した**アンケート用紙**が集まっていたり、職員からの**決裁文書**も溜まったりしていたからです。休日出勤した時には楽しみが一つあります。ゆっくりと**紅白の梅**の花を観ること。今日も元気をもらいました。



2月22日（土）研究会

午後、さいたま市の**附属小学校**で算数教育の研究会がありました。県内各地で研修を続けている若い先生方の**発表**の場です。休みの日や退庁後に集まったり、オンラインで会議をしたり、メールでやりとりしたりと、授業力を高めようとしている者が集まって学んでいます。子供にとって少しでも**価値ある教師になるために**努力している先生方が県内にたくさんいることを、私は誇りに思っています。



2月21日（金）会談・数学・進級

六年生との会談もあと少しになりました。欠席者や急な変更を除いてすべての子と会談をしました。15分程度ですがとっても楽しい時間でした。一番おもしろいのは「小学校生活で先生に怒られた思い出」です。宿題忘れ、ケンカ、掃除中のおしゃべり、授業準備の遅れが多い中、忘れてたくても忘れられないような話も飛び出します。この日に出た話は、下校中のこと。寄り道をしたらたまたま当時の教頭先生に見つかってしまったということ。今となっては良い思い出でしょう。

六年生の算数の授業も、中学の数学に近づいています。この日は「－（マイナス）の世界」について学び合っていました。身の回りで－1、－2などの負の数を使っているのを見たことがあるかの問いには、様々な解答がありました。「勝ち点」「ゲーム差」「ダイエット」「ゴルフ」「温度」「〇〇？のゲーム」など。「 $(-1) \times (-1)$ 」などの意味についても学び合っていましたが、理解できたのでしょうか。

四年生の学年コーナーにはチャイム号令なる掲示が貼り出されました。時刻を守れたことを可視化する取り組みです。四月からサプリーダーたる五年生になるには、時刻を守ることは最優先課題であると学年の先生が考えたのでしょう。確かに五年生になると、学校生活が一段と慌ただしくなります。今のうちに最低でも授業開始時刻を守る習慣をつけておいてあげたいです。



2月20日（木）形・お別れ・取材

一年生の算数では、色いたを使って形作りをしていました。三角形の色いたを組み合わせ、様々な形を作り喜んで活動していたところ、先生から大ジャンプの問題が出ました。写真の形は、三角形を13枚使うと出来上がります。「これは無理だ」とつい声を出してしまいましたが、



数分後、一人、二人と「できた！」という声が聞こえてきました。子供たちを信じてこの問題を出した先生もすばらしいと思いました。

三年生が学級活動で「どんなお別れ会にしたいか」を話し合っていました。グループで話し合いをした後に、一人一人の考えをP Cに打ち込み、それを全体で共有してから話し合いが続きしました。それぞれのP C画面には、全員の考えが映ります。「一年間を振り返れる会」「感動して思い出に残る会」「ワクワクする会」「体力がついて楽しい会」などなどの考えを、司会の子も楽しそうに見ていました。

最期の委員会活動日。五年生数人が校長室に取材にやってきました。過去の卒業アルバムを見たいというのです。私も一緒に古いアルバムを開きいろいろな驚きに共感しました。卒業生の住所と電話番号が書いてあること、宿泊行事で入浴している場面の写真が載っていること、ベランダに全員が出ている集合写真などなどを「今では考えられないね」と話していました。あっという間に時間が過ぎました。ぜひ来年度、探究してもらいたいです。



2月19日（水）成長・リーダー・仕事

低学年の保護者会。一年生も二年生も学習発表会を行っていました。できるようになったこと、成長したことを保護者の皆さんに見てもらいたいと、練習の時から気合が入っていました。なわとび、マット運動、作文、あやとり、コマ回し、計算、音読、合唱、演奏、音楽、九九、漢字などなど、張り切って披露したと思います。一年生が家の人に手紙を書いていたのも見ているので、届いていれば喜んでくださったことでしょう。

五年生の声が体育館から聞こえてきました。学年が集まっています。リーダーと思われる子が数人、前で指示を出しています。六年生を送る会の準備だと思います。次期リーダーたる五年生が、子供主体で動いていることに感激しました。先生からの指示の声はありませんでした。学校の



リーダーが育っていく姿を見た気がしました。

六年生が自分が興味を持っている・将来なりたいと考えている職業について発表し合っていました。「ダンスのインストラクター」「美容師」「マンガ家」「バドミントン選手」「動物を守る仕事」「バスガイド」などなどの発表を見ました。その中に「ドローンパイロット」を調べて発表した子がいました。「これからはドローンが役に立つ時代が来る」と話していました。お弁当をドローンで届けるサービスも始まっていることも話してくれました。



2月18日（火）十歳・健康・友達

四年生が「十歳を祝おうの会」を開きました。保護者の方にも観ていただきました。四年生になってできたことや将来の夢、友達や親へのメッセージ、そして家族への手紙を渡しました。家族への感謝や歌を聴いたりしていた保護者の方の目から涙が流れているを見て、私ももらい泣きしてしまいました。メッセージの中には「私は〇〇になりたいから、お父さんをお願いします。大学に行かせて下さい」と言ったものもありました。



三年生が「健康」について学び合いました。「なぜ健康でいたいのか」との問いには、たくさんの意見が出ました。私も考えてしました。三年生の発表は「病気になるため」「家族に心配させないため」「元気でいたいから」「楽しく遊びたいから」などと続けました。そして「人生は、一度。楽しい人生にしたいから」「長生きしたいから」という発表があり、答えを教えてもらった気がしました。



二年生が「友達に伝えよう」という学習をしていました。ノートには①だれに ②すてきなところ ③かんじたときのこと の3つが書かれています。①〇〇さん ②やさしい ③いっしょに遊んでくれてうれしかった などなどたくさんの子が登場します。伝えたら嬉しいことばかりが書かれています。こういう活動をしているときの子の表情は笑顔です。早く伝える活動をしてもらいたいと、そ



の場面を見たいと思いました。

2月17日（月）ゲーム・贈り物・探究

五年生の体育ではボール型ゲームを行っています。サッカーよりもハンドボールの方が子供の活動量が多く、本校では高学年は手でボールを運びゴールを目指す運動を行います。五年生は今年、ボールではなくフリスビーを使ってこのゲームを行っています。おもしろいです。どこに行くか分からないことと、誰にでも投げられること、とにかくよく走るチームが強いことが分かります。

三年生が六年生に贈る物の作成を始めました。先生の説明と一緒に聞いていたのですが、驚くことがありました。贈る物にはQRコードがあり、読み込むとあるものが表れるようになっているのです。昔では考えられないような贈り物です。そういえば今はほとんどペーパーレスで物事が進みます。贈り物にもそんな流れが入ってきているのです。

六年生が扇っ子タイム（総合的な学習の時間）で探究したことを発表しました。保護者の方々にも参加していただきました。「なぜスーパーによって物の値段が違うのか」「ゲームの人気は今も続いているのか」「色のついた水を蒸発させるとどうなるのか」「算数とは何か」などなど、自分自身で探究したいことに、三学期の六年生は取り組んできました。一人ひとりの発表をじっくりと個別に聴いてみたいと思いました。



2月16日（日）玉ねぎ

本日オフ。午前中映画を観てきました。映画館に行くのは本当に久しぶりです。私が観た映画はあまり人気がないようで、観客数は一ケタでした。ラジオでこの映画の感想を聴いていたので楽しみにしていたのですが、予想以上に感動のあるいい映画でした。私が若い頃に行ったコ



ンサートの場面も出てきて感無量でした。

2月15日（土）逃げる

本日は朝から出勤。今週は**毎日出張**だったので、仕事がたまりにたまってしまったのです。読みたい**資料**にも久しぶりにゆっくりと目を通しました。午後は、所沢にて地区の**算数研修会**。若い人からエネルギーをいただき一日が終わりました。二月も中盤、本当に日が過ぎるのが早い。二月は「逃げる」月。毎日**を大事に**しないと。



2月14日（金）技・技・物語

久しぶりに**朝の校庭**に出してみました。**鉄棒**、**縄跳び台**に子供がたくさん集まっています。鉄棒に集まっていた子は**鬼ごっこ**を始めました。毎日クラスで行っているとのこと。縄跳び台には1年生から4年生までの50人程が並び、技の練習をしています。近づいていくと、数人が**得意の技**を見せてくれました。すでに私にはできないような技をマスターしているのです。鉄棒に戻るとちょうど一年生の子が**逆上がり**を成功させたところ、一緒に喜べて**幸せ**でした。



生活科室では、**二年生**が様々な活動をしていました。**縄跳び**の練習をしている子、九九を言っている子、そして**ブリッジ**をしている子。ブリッジをしている3人は、何度も何度も技を見せてくれました。**壁に手**をついて身体を反らす荒技を見せてくれた子もいます。しばらくブリッジを見ていると、朝、縄跳びの技を見せてくれた子がやってきました。**同じ技**をまた見せてくれました。



五年生の教室に行くとタブレット画面上に、おもしろい物語がありました。自作の物語のようです。ある子に見せようと、「**ウサギとカメもうひとつの物語**」でした。競争に負けたウサギが悔しくて第二回戦に挑みます。しかしウサギは同じようなミスをして負けてしまいます。



ウサギの挑戦は19回戦まで続きます。そして……。紹介はここまでにしておきます。

2月13日（木）くぎ・劇・弁当

三年生が図工室で、楽しそうに会話しているのが聞こえてきました。くぎを打った作品が完成してきたようです。ビー玉を使って遊ぶ作品で、100点の所に玉が入ったと喜んでいる子もいます。絵も楽しくて、マクド○○ドをテーマにしたり、果物がテーマだったり、野球場に見立てたゲームになったりと個性豊かです。早く持って帰って家族と遊びたいと思っているようです。

四年生の教室からは笑い声が聞こえてきました。前で数人が劇をしています。泣いている子、一緒に保健室に行く子、保健室の先生、担任の先生役の子で演じています。保健室に行くと先生に優しくしてもらい、担任の先生からは注意をされる、そんな感じの劇です。この劇が終わると、新たな場面が始まりました。六年生の子が登場します。この劇をどこで披露するのか、まだ聞いていません。

六年生の外国語では、小学校一番の思い出について英語で伝え合っていました。発表があるようで、学び合って練習をしています。一番の思い出、英語で教えてもらいました。（カタカナで勘弁して下さい）「スクール・トリップ」「スクール・フェスティバル」「フレンドシップ」「サマー・バケーション」「スポーツデイ」などの思い出について英語で話していました。



2月12日（水）感謝・献立・弁当

ボランティア感謝の会を行いました。本校には、現在77名の方が登録して下さり、学校生活を支えてくれています。読み聞かせ、図書、ベルの会、家庭科、書写、外国語、見守り隊、農業、それぞれのボランティアの方々が参加して下さり、子供たちが感謝の気持ちを伝えました。参加し



て下さった方からも、会への感謝の言葉を後にいただきました。たくさんの方々に支えていただき、扇小の子は幸せだと思います。これからもよろしくお願いします。

本日の給食には、**六年生**の子が考えてくれた献立が出ました。「**大根**の炊き込みご飯」「鶏肉と**根菜**の煮物」「ほうれん草と豆腐のみそ汁」でした。家庭科の授業で、**プレゼン**をしていたのを思い出しました。ポイントは、**旬の食材**と**地場産物**を使っていること、**栄養**のバランスと**彩り**がよいこと、身体の調子を整え**風邪に負けない**身体を作れることと、発案した班に教えてもらいました。

4時間目、**一年生**の教室に入ると、**お店屋さん**ごっこの片づけが行われていました。ある班はお弁当屋さんを開いたようで、たくさんのお弁当を見せてくれました。**お子様**の**りたま弁当**、**から揚げ弁当**、**とんかつ弁当**、**サケ弁当**、**うめ弁当**、**のり弁当**などなど。とっても**美味しそう**に絵が書かれています。お腹がすいてきました。このお弁当も、いつか**献立**になる日が来るかもしれません。



2月11日（火）梅

本日は祝日。午前中仕事をして退庁するときに、**梅の花**が咲き始めていることに気づきました。**紅白とも**張り切って咲いてくれるでしょう。最も寒い時期にがんばる「**歳寒の三友**」（松、竹、梅）の最後の梅です。梅は、寒さの中でもいち早く花を咲かせて、春が来たことを教えてくれる花。「**元気の心**」を表しているそうです。大好きな梅の花、今年も元気をもらえそうです。



2月10日（月）カード・生産・型

あるクラスの**廊下**に、カードがきれいに貼り出されています。よく見ると、**120枚**を越えています。**生活委員会**の子が元気にあいさつしている子に配っているカードのようです。隣のクラスで貼り出したので、子供たちから



「僕たちのも貼って」と言われたということ。日々増え続けて、知らないうちに 100 枚を越えていました。気持ちのよいあいさつが可視化されている、すばらしい取り組みだと思います。

六年生の教室に行くと、ある子が自分の着ている服をひっくり返していました。お腹を出してしまうほど、めくりあげています。何かを見ようとしているのは伝わってきます。何を見つけようとしているのか聞いてみると「どこで作られたのかが知りたい」というのです。しばらくしてこの子は、自分が着ている服が中国産だと知ります。黒板には「日本と世界のつながり」と書いてあり、活動のねらいが分かりました。

二年生の図工では、切り取った形に色を塗り画用紙にスタンプのように押して絵を作っていました。うさぎ、恐竜、クワガタ、自動車などの型がいろいろな色で画用紙に並びます。星とハートなど2種類の型を押していく子もいました。おもしろいと思ったのが型の大きさです。小さな型を作った子はたくさん画用紙に押すことができます。反対に大きな型、大作を作った子は一度しか押せません。どちらが楽しいかは、子供によって違うようでした。



2月 9日（日）元気

さいたまスーパーアリーナにて、あるイベントに参加してきました。約2時間半、出演者たちのパワーから元気をいただきました。いつまでも元気であることの大切さを感じました。人を感動させるにも、人に喜んでもらうにも、人の役に立つにも、基本は健康と元気があってこそ。子供や職員の前で元気な姿でいられるように、さらに精進したいと強く思わせてもらえました。



2月 8日（土）研修

昨日、午後が出張だったので本日は出勤してきました。



この時期はやることが山のようにあります。午前中は校長室にこもり、午後は地区の研修会へ。ここでも一年のまとめを行いました。年間の成果と課題、来年度に向けてなどの話し合いを行いました。「二月はにげる」と言いますが、本当に日々が早く感じます。

2月 7日（金）算数・似てる・便り

五年生の算数。どのクラスでも活発な学び合いが行われていました。与えられた表から決まりを見つけ、式にする問題です。ある程度理解した子同士が確認し合っていたり、不安な子が理解した子に確認したり、分からない子が理解した子に相談したりする姿が教室内に広がっていきます。もちろん、納得いくまで一人で悩んでいる子もいます。教科書を開き、頭を抱えている子もいます。個々が尊重され、学びが大事にされている空気が流れています。

一年生の国語では、「似ている字」を学び合っていました。黒板にはたくさんの発表が反映されていたので、すでに出尽くした感がありました。「まだある」と四人が手を挙げていたので、先生もその子たちの意見を発表させてあげました。出てきたのは「ナとメ」「アとマ」「イとト」「又とフ」「ソとツ」。発表の度に「確かに！」と先生も子供たちも、そして私も声を出していました。

二年生の教室でプリントが配られました。名前を書く子はいないので、家庭に持っていく手紙のようです。廊下で見ていた私は、子供たちが一斉に読み始めたこの手紙が何か、気になってしまいました。手紙には写真があり、クラスの様子が書いてあります。学級通信のようです。

「〇〇さん、写ってるぞ！」などと、〇〇さんに教えている子もいて、楽しそうに読み合っています。



2月 6日（木）成人・練習・中学

四年生の教室から大きな声が聞こえてきました。「私は



保育士になりたいです。・・・」「僕は・・・」と。二分の
一成人式の練習が始まったようです。発表のために使う
紙には、将来の姿が書いてあります。ついつい「先生」は
いないかなと探してしまいました。「幼稚園の先生」「保育
士」「ダンスの先生」「保育士」は見つけましたが、この教
室内には「小学校の先生」はありませんでした。

理科室から聞こえてきたのも四年生の声です。私が入
ると、ある子が「しー」と指を口に当ててこちらをチャーミ
ングににらみました。タブレットに集まって、そこから聴
こえてくる声に合わせて合唱の練習が始まったのです。パ
ート練習のようです。きれいな声がタブレットから聞こえ
てきます。それに合わせて集まった子も歌声を重ねていま
した。しばらく見ていると、リーダーと思われる子が「合
格」の合図を出しました。

六年生が向原中学校に一日入学に行ってきました。指
定された教室に入ると、中学一年生が中学校生活の説明
を始めました。「中学校の学習」について説明してくれた
子は「私は成績が良いので、そのコツを教えます」と、詳
しく話してくれました。漢字は毎日書いた方がいい。数学
は分からないことをそのままにしてはダメ。英単語は毎
日少しずつ覚える。5段階評価で1をとるとたいへん。一
年先輩の話、六年生は真剣な表情で聞いていました。



2月 5日（水）縄跳・友達・会話

体育朝会ではリズムなわとびに取り組みました。音楽
に合わせて、あやとび、交差とびなどをします。それぞれの
技ができる子にとっては、楽しい時間です。この日は、
最後の決めポーズまで行いました。難しい技ができない
子も、自分ができる技で音楽に合わせて跳んで、最後は決
めていました。この日、私が一番気に入ったのは「挑戦」
の時間があったこと。自分の好きな技で跳ぶ時間が保障
されていたことです。この日の20分休み、いつも以上に
縄跳び台に扇っ子が集まっていました。



四年生が道徳で「友達」について学び合いました。料金不足で届いた友達からの絵はがきについて主人公は悩みます。返事に料金不足のことを書くか、お礼だけにするか。子供たちの反応はそれぞれでしたが「お礼だけ」の方が多かったです。「相手が怒る」「気分を悪くさせる」「傷つく」「わざとじゃないんだから」と。実際に主人公は、料金不足を知らせます。それは友達だから、です。



五年生が廊下で先生と英語で会話をしていました。この日は、全員が先生と一対一で会話する活動でした。「私は福岡に行きたい。パイパイドームに行きたい。理由は試合を観たいから」「私はディズニーシーに行きたい。行ったことがないから、行ってみたい」などを、英語で伝えていました。堂々と話す子供の姿を見て、驚きました。中には、紙を見ないで話す子もいました。



2月 4日（火）昔・学習・食堂

三年生がアリットで、昔の生活について学びました。体験コーナーでは着物を試着したり、ベーゴマなどの遊びをしたり、かやの中に入ったりできました。着物を着せてもらった子は鏡を見て、うれしそうな顔をしていました。友達から「かわいい」「かっこいい！」「似合う！」などと声をかけられて、照れている子もいました。小学二年の時にコマ回しの王者だった私は、今では三年生を相手に全敗でした。



五年生が算数で、おもしろい学び合いをしていました。「家庭での学習」や「教科への関心」などのアンケート結果から分かることを分析していたのです。例えば「家庭学習では、簡単にできる漢字練習をしている子が多い」「算数の図形を家で勉強する子は少ない」などです。理由を考えるのは、算数の学習から離れますが、「学校で学び、家庭で習熟を図る」子が増えていると私は考えます。



学校運営協議会で「久保稲荷なかよし広場」を視察しました。放課後の子どもが公民館で安心して過ごせるため



の活動です。ボランティアの方が中心に行ってくれています。勉強・宿題をしている子、卓球やゲームなどして遊んでいる子がいます。一年生から六年生まで、兄弟で来ている子もいました。六年生が一番多いそうです。この日のおやつの時間には、ラーメンとケーキが出ました。地域の子供たちを支援する、すばらしい活動だと感激しました。

2月 3日（月）節分・師弟・振り返り

節分の会を二つ見ました。一つは一年生のあるクラス。司会の子が「鬼を発表します」というと、次々に自分の鬼を発表していききました。「私は、わすれんぼう鬼です」などと。全員が発表し終わると、掲示した鬼に向かって豆（新聞紙を丸めたもの）まきが始まりました。体育館では二年生が学年で集会をしていました。鬼役の先生に向けて、豆（柔らかいボール）まきが始まりました。鬼に同情してしまうほど、強い豆が鬼に当たっていました。

算数の授業、あまり見なくなった場面がありました。ある子と先生が向かい合って問題に取り組んでいます。「分からなかったら友達に聞く」ことが浸透しているせいか、先生に聞きに行く子は本当に減りました。声を聞いていると、○つけをしてもらった後に「なぜ最初は○でなかったのか」を聞いていたようです。先生も上から目線ではなく、一緒になってなぜ間違えたのかを考えていました。これぞ師弟同行です。

五年生の英語、先生が数人の名前を呼び上げていました。小さな歓声や拍手が起こったので、良い子が呼ばれたようです。どうやらワークに書いた「振り返り」が優れた子が呼ばれたようです。その一人のワークを見せてもらいました。「前回よりだいぶ上手くできました。英語らしい発音を、プリントを見ずに下を向かないで発表できてよかったです」と書かれていました。自分の成長が記されているのがポイントでした。



2月 2日（日）お弁当

午後、飯能市で集まりがあるので、それまで仕事をする
ことにしました。雪ではなく、**冷たい雨**が降っています。
スポ少の**コーチ**が数人、校庭に来ましたが中止を決めたよ
うです。この時期は時間が足りないほどやることがたくさ
んあります。昼食に出るのも惜しいので、久しぶりに校長
室で、出勤途中に買ってきた**お弁当**を食べました。恵方巻
きにすれば良かったと、後悔しました。



2月 1日（土）如月

2月になりました。「如月」です。まだ寒さが残ってい
るので、衣をさらに着る月であるから「**衣更着**」、草木の
芽が張り出す月であるから「**草木張月**」などから、「きさ
らぎ」と呼ばれているようです。私はこの「**きさらぎ**」と
いう音の響きが好きで、2月になると好んで「如月」とい
う言葉を使ってきました。明日は**雪**が降るかもしれませ
ん。今日できることは今日しておこうと、いろいろと出か
けました。

